

国 見町長を11月26日をも
つて退任するにあたり、
町民の皆様へ退任のごあいさ
つを申し上げます。

8年前を振り返りますと国
見町は、東日本大震災、そし
て原発事故による被害からの
復旧・復興が進まず、町民の
皆様は元気を失い、大変な状
況でありました。

私は、「生まれ育ったふる
さと国見町を何とかしたい」
との強い思いから町長選挙に
立候補することを決意し、町
民の皆様の絶大なご支援をい
ただき、町長に就任すること
ができました。

町長就任後は、直ちに「東
日本大震災復旧復興対策推進
国見町民会議」を設置し、除
染の着手と県北浄化センター
の汚泥全量搬出などをオール
国見で強力かつスピーディー
に取り組み、町民の皆様のご
理解とご協力によりまして、
おかげさまで、予定よりも早
く完了することができました。
また、被災した役場庁舎の
早期再建をはじめ、屋内遊び
場、農業ビジネス訓練所、小
坂くらし館、あつかし歴史館

盤が整備されております。こ
れらの施設とそこに暮らす国
見町民がオール国見で「魅力
ある国見町の創造」のために
前へ前へ進むことで、国見町
は合併しなくても町として未
来に向け、継続的に維持発展
ができるものと強く確信して
いるところであります。
私は、これまでの2期8年、
町勢発展のため、「復興・絆
交流連携 国見の未来をみん
なでつくりましょう！」をス
ローガンに全力で町政に取り
組んでまいりました。この間、
町民の皆様の絶大なご理解
とご協力によりまして、町長
就任時に掲げました5つの公

8年間の感謝を込めて

退任のごあいさつ

などを整備するとともに、農
産物の風評払拭に向けた全国
でのトップセールス、健康づ
くり、子育て支援、さらには
応援大使、東京くにみ会の立
ち上げなど交流連携にも取り
組んできました。同時に、「復
興・絆」元気活力事業として、
町民の皆様への心を元氣を取り
戻すため、義経公行列の復活
や、イルミネーション事業、
ふるさと祭、フードフェスタ、
産業祭などの新規事業にも財
源を確保しながら取り組みま
した。

さらに、平成29年5月には、
富永町長、佐藤町長時代から
長年の悲願であった「道の駅
国見あつかしの郷」が復興の
シンボルと交流連携の拠点と
して開業し、連日、多くの来
場者で賑わい、町をはじめ、
地域の活性化に大きく寄与し
ております。

ご案内のように、現在、少
子高齢化の加速による人口減
少、新型コロナウイルス感染
症の感染防止対策などの課題
もあります。国見町には、
「道の駅国見あつかしの郷」
など、交流連携の核となる基

約の各種事業を概ね達成でき
たものと判断し、この度、新
町長にバトンを渡すこととし
たところであります。
最後になりますが、こま
で来れましたのも町民の皆様
のご理解とご協力の賜物であ
り、改めて心より敬意と感謝
を申し上げます。退任のあいさ
つとさせていただきます。誠に
ありがとうございました。

国見町長

太田 久雄

太田町政8年間の主な軌跡

2012年（平成24年）

- 11月・太田町政スタート。27日に初登庁し、力強くあいさつ①
- 12月・東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議を設置②

2013年（平成25年）

- 6月・町民会議で住宅除染着手と町内5方部の仮置場が決定
- 9月・「第18回義経まつり」で義経公行列が復活
- 10月・震災後初の全町民対象「総合防災訓練」を実施
- 11月・「明日へ。復興・きずなイルミネーション」を初開催③
- 11月・県北浄化センター保管汚泥全量搬出へ覚書を県と締結④

2014年（平成26年）

- 3月・「奥州街道と真ん中！春のフードフェスタ」を初開催
- 6月・「国見ルネサンス（ふるさと祭）」を初開催
- 8月・首相官邸で桃のトップセールス。安倍総理と懇談⑤
- 10月・幼小中一貫教育事業「くにみつこ祭り」を初開催
- 11月・町の現状を知ってもらうために「東京くにみ会」を初開催

2015年（平成27年）

- 2月・東北の町村で初めて「歴史的風致維持向上計画」が国から認定⑥
- 4月・旧小坂小をリニューアルし、「小坂くらし館」がオープン
- 5月・被災3県で最速となる「役場新庁舎」が開庁
- 5月・「国見町合併60周年記念式典」を観月台文化センターで挙行
- 12月・観月台文化センターホールがリニューアルオープン

2016年（平成28年）

- 3月・「東日本大震災を考える町民のつどい」を開催

- 3月・木育推進へ「ウッドスタート」宣言

- 3月・国見の食を再発見「食の文化祭」を初開催

- 4月・地域で支え合う介護予防事業「通いの場」がスタート

- 8月・国見町結婚世話やき人が活動スタート

2017年（平成29年）

- 1月・旧大木戸小が国見町文化財センター「あつかし歴史館」へ
- 1月・県北浄化センター内の下水汚泥の全量搬出が完了
- 5月・「道の駅国見あつかしの郷」がグランドオープン⑦
- 10月・特別栽培米「くにみ米」が誕生
- 12月・県北中生徒がデザイン、国見町「ラッピングバス」が完成

2018年（平成30年）

- 2月・県内で2番目に長い記録「交通死亡事故ゼロ5000日達成」
- 4月・農業の担い手育成へ「くにみ農業ビジネス訓練所」が開校⑧
- 6月・地域の居場所づくり「くにみささえ愛」活動がスタート
- 9月・歴史公園整備に向けて「阿津賀志山防塁整備計画」策定
- 10月・子どもたちの思いを町政へ「子ども議会」を初開催

2019年（令和元年）

- 6月・交流連携のカタチ「くにみ道の駅大交流フェスタ」を初開催
- 7月・くにみ版「いきいき百歳体操」がスタート
- 9月・町の遊休施設が交流拠点「アカリ」としてオープン
- 10月・台風19号が直撃。町にも甚大な被害が
- 11月・伝統を次の世代へ「国見町伝統文化親子体験フェスタ」

2020年（令和2年）

- 4月・町内企業と連携して、町民へ布マスクを配布
- 8月・花火とイルミネーションで希望の光を灯した「光の祭典」

